

ヒマラヤ大地震 山岳民族支援報告書

ヒマラヤトレッキング・登山専門 サパナ
代表 浅原明男

2015 年 4 月 25 日 11 : 56 分、カトマンズの北西 77km 付近で起きたマグニチュード 7.8 の巨大地震。
サパナでは 2015 年 5 月 11 日～2016 年 3 月 18 日まで計 6 回にわたり支援活動を行う。

ヒマラヤ大地震が起きた後、「世界で最も美しい谷」と称されている中にあるランタン村が土砂と雪崩で消滅したことを聞き、山岳民族が暮らす村々を復興させるためには、単にモノを配るだけではなく、社会的に孤立した人々を救うことが必要だと考え、5 年、10 年を見据えた支援活動をスタートさせた。

ヒマラヤの奥地に散在する被災した村々に直接足を運び、現状を把握するとともに、太陽光発電式ライトを配り、電池切れとなった携帯電話を使用できるようにし、村人が直接安否の連絡や救援支援が行えるようにした。

その後、震災で家族を失った子供たちの笑顔を取り戻すため、文房具メーカーのぺんてる、大洋印刷様等からの協力を得て、絵画教室を開催し、『心の支援』プロジェクトとして、継続中。

支援活動実施の概要： 2015 年 5 月 11 日～2016 年 3 月 18 日

1. ラスワ郡 ランタン渓谷及びチベット国境沿いにある村々
2. ゴルカ郡 パルバック村および周辺の村
3. ラスワ郡 チリメコラー渓谷にある村々
4. ダーディン郡 リチェット村、 ゴルカ郡 パルバック村
5. ゴルカ郡 パルバック村および周辺の村
6. カトマンズ ボダナート周辺の避難民キャンプサイト



親族や友人の無事を確認



政府食料支援物資を村ごと配布



被災したチベット難民の現状把握



村の復興会議に参加



滋賀県知事のメッセージを届ける



中学生の励ましのメッセージ



復興を願って凧揚げを企画



「10年後の村」の姿を題材にして



「将来になりたい夢」を題材にして

活動内容：

1. (初期の主な活動)

- ・ランタン渓谷の村々の被害状況の確認、ランタン村へ延びる生活道の確認
- ・村ごとの支援状況及び政府等に対する要望の聞き取り
- ・中国国境付近で暮らすチベット難民の支援状況の確認
- ・太陽光発電式ライトの配布、古着、文房具等の配布

2. (ネパール政府、他の NGO 団体に対する協力)

- ・ネパール政府支援の配給コーディネート
 - ※配給物資が全戸に平等配布されたかどうかを確認する方法を提案
- ・山岳民族に支援を行っている団体への支援要請
- ・医療コーディネートサポートに対するサポート、他の NGO の現地コーディネートおよび通訳等
- ・山岳地域での支援を行う NGO 団体の許可の取得代行
- ・ネパール政府からの要請による地震の影響の少ない村々の調査と観光業活性化の検討

3. (その他の活動)

- ・村の特産品、山村女性が自立できる商品開発の検討
- ・心の支援事業、子供たちの心のケアのための絵画、凧揚げ企画
- ・滋賀県知事、大津市長等の激励メッセージをネパール政府、被災地、学校へ届ける

以上